

いなべの農業 担い手さん

今回は20歳代で認定農業者として、営農に励んでいる員弁町の日紫喜さんを紹介します。

日紫喜 幸久さん
(員弁町北金井)



経営規模はどれくらいですか？

稲作を8ha（コシヒカリが主体）、大麦を3ha、小麦を2.5ha、大豆を6ha、大豆の刈取委託作業を20ha、そのほかに親と一緒に、シイタケ栽培を行っています。機械はトラクター64馬力を始め4台、6条植えの田植え機1台、4条刈コンバイン1台、汎用コンバイン1台を使って作業しています。

若くして専業で農業をやろうと思ったのは？

農業に興味があり、どれくらいのことのできるのかと思い、やりだしました。今では、「やっぱり農業が好きなんだなあ」と実感しています。



仕事のなかで大変なことは？

天候都合で仕事や作付け自体が左右されることですね。こればかりはどうしようもないことですが、仕事自体はあまり大変と思っていません。また、同業者の方との交流で、色々教えてもらいながら作業することはその方たちとのつながりも含め楽しいですし、やりがいもあります。

心掛けていることは？

冬場にはシイタケ栽培で約36,000本の原木によって、年間約20tを生産し出荷作業をしています。作物全てにいえませんが、ていねいな仕事を心掛け、品質の良いもの作っていきたく思います。



問 藤原庁舎 農林商工課 T 46-6306 F 46-6319

編集後記

「メタボリックシンドローム」。最近、この言葉をよく聞くようになりました。特集にもあるように、腹囲（へそ周り）と血糖・脂質・血圧のうち2項目以上（1項目の場合は予備群）が該当すると、いわゆる「メタボ」となります。お腹が出ていると「メタボじゃないの?」、つい言ってしまいますが、基準は違うようです。「でも、そんなの関係一ねえ!」とは思わないでください。お腹が出ていたら十分注意が必要ということをお忘れしないでくださいね。



生活情報「まいめる」QRコード



モバイルサイトQRコード



いなべ市ホームページ(携帯電話用)QRコード

※記事にあるQRコードは一部の携帯電話でご利用にならない場合があります。

いなべいきいきマイタウン

▶ ありがとうございます! 子育て支援に寄付金

(株)神戸製鋼所さんから昨年に続き、次世代を担う子どもたちの支援活動にご寄付をいただきました。この寄付により、テントやおもちゃ、絵本を購入して、出前広場の活動をさせていただいています。市内の企業のみなさんをはじめ、地域のみなさんとともに支えあい、安心・安全なまちづくりと生き生きとした子育て環境の輪を広げていきたいものです。



情報提供：こども家庭課

発行/〒511-0293 いなべ市員弁町笠田新田111番地 T 0594-74-5820 F 0594-74-5821
編集/企画部 広報秘書課 <http://www.city.inabe.mie.jp/>
平成20年1月1日発行 Vol.50